



## 2021年7月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年3月12日

上場会社名 株式会社ファーストロジック  
コード番号 6037 URL <https://www.firstlogic.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂口 直大

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部経理財務グループリーダー (氏名) 渡邊 賢太郎

TEL 03-6833-4576

四半期報告書提出予定日 2021年3月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年7月期第2四半期の業績(2020年8月1日～2021年1月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年7月期第2四半期	833	2.5	424	6.0	425	5.8	257	12.8
2020年7月期第2四半期	854	0.7	451	0.9	451	1.0	295	0.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年7月期第2四半期	22.71	
2020年7月期第2四半期	25.66	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年7月期第2四半期	4,065	3,783	93.1	337.14
2020年7月期	3,942	3,712	94.2	323.97

(参考) 自己資本 2021年7月期第2四半期 3,783百万円 2020年7月期 3,712百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年7月期		0.00		0.00	0.00
2021年7月期		0.00			
2021年7月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年7月期の業績予想(2020年8月1日～2021年7月31日)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、適正かつ合理的な業績予想の算定を行うことが困難であることから未定といたします。今後、業績予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 有

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年7月期2Q	11,844,400 株	2020年7月期	11,844,400 株
期末自己株式数	2021年7月期2Q	622,636 株	2020年7月期	386,136 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年7月期2Q	11,345,635 株	2020年7月期2Q	11,523,226 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2021年7月期の業績予想につきましては、適正かつ合理的な業績予想の算定を行うことが困難であることから未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

なお、詳細につきましては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(会計上の見積りの変更)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7
3. その他	7
継続企業の前提に関する重要事象等	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、個人消費、設備投資、輸出が急激に減少するなど非常に厳しい状況が続いております。また、国内外で段階的な経済活動再開の動きが見られるものの、足元では新型コロナウイルスの新規感染者数が再び増加傾向となる等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社は「公正な不動産投資市場を創造する」をビジョンとして、不動産投資ポータルサイト「楽待」を運営してまいりました。

「楽待」では、「楽待新聞」やメールマガジンを通じて不動産投資家への有益なコンテンツの提供を充実させ会員数の増加を図るとともに、各サービスにおけるキャンペーン実施などの拡販施策により不動産会社への営業強化を行ってまいりました。特に「楽待新聞」において不動産投資に関する質の高い記事及び動画を継続して発信していくことや、「不動産投資の楽待公式アプリ」の質を高めていくことで「楽待」の利用価値を向上させていると考えております。

これらの結果、当第2四半期累計期間の営業収益は、833,710千円（前年同期比2.5%減）となり、営業利益は424,507千円（前年同期比6.0%減）、経常利益は425,027千円（前年同期比5.8%減）、四半期純利益は257,662千円（前年同期比12.8%減）となっております。また、第2四半期までの累計ページビュー（PV）数は63,911千PV（前年同期比30.5%増）、「楽待」ウェブサイト会員数は236千人（前年同期比25.0%増）、物件掲載数は50千件（前年同期比8.2%減）となっております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は4,065,783千円となり、前事業年度末と比較して123,192千円の増加となりました。その主な原因は、以下のとおりであります。

#### (流動資産)

当第2四半期会計期間末の流動資産は3,726,783千円となり、前事業年度末と比較して119,532千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が56,246千円減少及びその他が161,028千円増加したこと等によるものであります。

#### (固定資産)

当第2四半期会計期間末の固定資産は339,000千円となり、前事業年度末と比較して3,659千円の増加となりました。これは主に繰延税金資産が15,112千円増加したこと等によるものであります。

#### (流動負債)

当第2四半期会計期間末の流動負債は282,438千円となり、前事業年度と比較して51,972千円の増加となりました。これは主に、未払法人税等が14,713千円増加及び本社移転損失引当金が32,000千円増加したこと等によるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は3,783,344千円となり、前事業年度末と比較して71,220千円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が257,662千円増加及び自己株式が186,441千円増加したこと等によるものであります。

### (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して56,246千円減少し、3,244,016千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、営業活動により獲得した資金は、136,977千円となりました。これは主に税引前四半期純利益393,027千円を計上した一方で、その他の減少額144,036千円及び法人税等の支払額135,764千円が生じたこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、投資活動により使用した資金は、6,781千円となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出5,904千円が生じたことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、財務活動により使用した資金は、186,441千円となりました。これは自己株式の取得による支出186,441千円が生じたことによるものであります。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年7月期の業績予想につきましては、2020年9月14日に発表いたしました業績予想に変更はありません。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、営業収益は主に広告・セミナー掲載サービス及び営業費用は主に広告宣伝費について適正かつ合理的な業績予想を行うことが困難であることから未定といたします。今後、業績予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年7月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,300,262	3,244,016
売掛金	277,066	293,382
前払費用	20,601	19,266
その他	12,810	173,839
貸倒引当金	△3,490	△3,722
流動資産合計	3,607,250	3,726,783
固定資産		
有形固定資産	90,892	80,428
無形固定資産	30,356	31,979
投資その他の資産		
敷金	189,365	186,754
破産更生債権等	434	383
繰延税金資産	24,725	39,837
貸倒引当金	△434	△383
投資その他の資産合計	214,090	226,592
固定資産合計	335,340	339,000
資産合計	3,942,590	4,065,783
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	20,091	28,440
未払費用	2,491	2,628
未払法人税等	135,820	150,533
未払消費税等	38,941	21,818
預り金	16,721	29,717
賞与引当金	16,400	17,300
本社移転損失引当金	—	32,000
流動負債合計	230,466	282,438
負債合計	230,466	282,438
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	87,357	87,357
資本剰余金	967,426	967,426
利益剰余金	2,941,891	3,199,553
自己株式	△284,550	△470,992
株主資本合計	3,712,124	3,783,344
純資産合計	3,712,124	3,783,344
負債純資産合計	3,942,590	4,065,783

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年1月31日)
営業収益	854,795	833,710
営業費用	403,275	409,202
営業利益	451,519	424,507
営業外収益		
受取利息	14	15
受取賃貸料	—	1,163
雑収入	348	274
営業外収益合計	362	1,452
営業外費用		
支払手数料	561	932
営業外費用合計	561	932
経常利益	451,319	425,027
特別損失		
本社移転損失引当金繰入額	—	32,000
特別損失合計	—	32,000
税引前四半期純利益	451,319	393,027
法人税、住民税及び事業税	149,764	150,477
法人税等調整額	5,922	△15,112
法人税等合計	155,686	135,365
四半期純利益	295,633	257,662

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年1月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	451,319	393,027
減価償却費	8,653	15,623
株式報酬費用	11,601	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△83	180
賞与引当金の増減額(△は減少)	600	900
本社移転損失引当金の増減額(△は減少)	—	32,000
受取利息及び受取配当金	△14	△15
売上債権の増減額(△は増加)	6,148	△16,315
未払金の増減額(△は減少)	△44,690	8,349
未払費用の増減額(△は減少)	△104	136
未払消費税等の増減額(△は減少)	3,715	△17,122
その他	△124,368	△144,036
小計	312,778	272,726
利息及び配当金の受取額	14	15
法人税等の支払額	△224,896	△135,764
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>87,895</b>	<b>136,977</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,261	△877
無形固定資産の取得による支出	△5,298	△5,904
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△8,559</b>	<b>△6,781</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△112,383	△186,441
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△112,383</b>	<b>△186,441</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△33,047	△56,246
現金及び現金同等物の期首残高	2,925,918	3,300,262
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,892,870	3,244,016



(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(会計上の見積りの変更)

当社は、2021年1月19日開催の取締役会で本社移転に関する決議を致しました。

この本社移転に伴い、移転後利益見込みのない建物附属設備及び当該資産の原状回復に係る資産除去債務につきましては、移転予定日までの期間で減価償却費及び資産除去債務の費用計上が完了するように当第2四半期会計期間において耐用年数を変更しております。また、移転予定日後から契約終了日までの現在の本社の支払家賃につきましては、特別損失に計上しております。

これにより、従来の方法に比べて当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益が7,969千円及び税引前四半期純利益が39,969千円それぞれ減少しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第2四半期累計期間において以下のとおり、自己株式の取得を行いました。

(取得)

- ・2020年8月21日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を124,400株(99,933千円)取得しました。
- ・2020年12月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を112,100株(86,508千円)取得しました。

これらの結果、当第2四半期累計期間において自己株式が186,441千円増加し、当第2四半期会計期間末において自己株式が470,992千円となっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自 2019年8月1日 至 2020年1月31日)

当社は、不動産投資ポータルサイト事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期累計期間(自 2020年8月1日 至 2021年1月31日)

当社は、不動産投資ポータルサイト事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

### 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。